

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月13日(金)

事務事業		医師確保推進事業			担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	29213	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市後期研修医研修資金貸与条例				
	小項目	2	地域医療体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		第三次救急病院として地域医療の拠点である深谷赤十字病院における医師確保を図るため、研修医、医学生を対象とする事業を実施し、医師確保対策に取り組むものである。									
目的 ※何のために		地域医療体制の充実									
対象 ※誰・何を対象に		後期研修医研修資金の貸与を受けた医師									
手段 ※どのように		研修資金及び奨学金を貸与する。									
成果 ※何を求めるか		市内病院において勤務する医師を確保する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	医師確保推進事業		4,000
本事業の 主な業務		・ 医師育成奨学金貸与制度					・				
		・ 後期研修医研修資金貸与制度					・				
		・					・				
		・					・				
		・					・				
		・					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画						
事業費	予算(現額)	33,000	33,000	4,000	5,000	
	決算額	3,000	3,000	4,000	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	
		一般財源	3,000	3,000	4,000	5,000
人件費	従事職員数(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	
	人件費相当試算※	4,328,257	4,405,591	4,522,233	4,690,301	
総事業費試算		4,331,257	4,408,591	4,526,233	4,695,301	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	医師確保事業メニュー数	目標値	事業	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		実績値		2.00	2.00	2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度におけるメニュー数 / 医師確保事業メニュー数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	後期研修医研修資金被貸与者	目標値	人						
		実績値		3.00	3.00	3.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度（平成23～27年度）終了により実績値のみ / 実績値						
	実績値の算出式								
成果指標 1	医師育成奨学金貸与制度利用者数	目標値	人						
		実績値		6.00	6.00	6.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度（平成23～27年度）終了により実績値のみ / 担当課で把握						
	実績値の算出式								
成果指標 2	制度利用者における深谷赤十字病院勤務者数	目標値	人	6.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		実績値		5.00	4.00	3.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度の利用者における深谷赤十字病院勤務者数 / 担当課で把握						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	奨学金などの貸与制度については、「後期研修医研修資金」及び「医師育成奨学金」の2事業となっており、平成27年度において募集を終了している。 また、現時点において後期研修医研修資金の貸与者は3名おり、平成26年度からの実績値となっている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	現時点での医師育成奨学金の貸与者は6名となっており、その内、専門医2名、正規職員1名が深谷赤十字病院での勤務を行った。
			評価者 地域医療係長 小山明仁

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	診療科目の決定など奨学生に関する調査事項については、深谷赤十字病院の職員及び研修担当者と、細密な連絡調整を行うことで、効率的に執行している。
			評価者 地域医療係長 小山明仁